

2024年11月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第239号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2024年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の開催について

【目的】東海地域における大学、企業、公設試験場、独立行政法人等の研究開発シーズや成果を紹介する場を提供し、参加者の産学官マッチングによるビジネス創出を支援します。

【開催場所】名古屋大学 野依記念学術交流館

名古屋市千種区不老町 地下鉄 名古屋大学駅 下車5分

【開催日時・プログラム】

・会場展示

2024年12月5日(木) 野依記念学術交流館 1階

13:00-17:00 開会式 ブース展示、ポスター展示

・シンポジウム、第4回セミナー(ハイブリッド開催)

2024年12月6日(金) 野依記念学術交流館 2階

10:00-12:00 東海4県農業関係試験研究機関シンポジウム

岐阜県農業技術センター、愛知県農業総合試験場

三重県農業研究所、静岡県農林技術研究所

13:00-14:30 NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 第4回セミナー

企業、高校などの成果発表

・Web展示

2024年12月5日(木)―2025年1月17日(金)

東海生研 HP にて出展機関のデータ(テキスト等、映像)を公開します。

主催：NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

共催：東海4県農業関係試験研究機関

アジア農学系大学連合 (AAACU:Asian Association of Agricultural Colleges and Universities)

後援：名古屋大学大学院生命農学研究科 農研機構中日本農業研究センター

公益財団法人農林水産・食品産業技術振興協会

セミナー等は東海生研 HP からお申し込み下さい。 <https://www.biotech-tokai.jp/>

☆令和6年度スマートグリーンハウス展開推進研修会「ケーススタディとディスカッション「計測技術とデータ利用方法」

- 1 開催日時：令和6年11月27日（水）13:30～16:00
- 2 開催場所：三重県農業研究所 植物工場三重実証拠点 研修室
- 3 内容：ケーススタディとディスカッション「計測技術とデータ利用方法」
講演1：計測の基本技術と農研機構の取組事例
農研機構 西日本農業研究センター 施設園芸グループ 吉越恆 グループ長
講演2：温室環境、生育等のデータ活用による栽培管理の改善
静岡県農林技術研究所 大石直記 主任研究員
- 4 参集範囲：施設園芸および圃場管理を行う農業者および経営者、指導者等
- 5 参加費：なし
- 6 主催：三重県農業研究所
- 7 申し込み：<https://www.pref.mie.lg.jp/NOUGI/HP/m0132900106.htm>

「別紙チラシ」の裏面申込書に必要な事項を記入のうえ、11月22日（金）までにFAX（0598-42-1644）または電子メール（plant-fb@pref.mie.lg.jp）で担当まで送付願います。申込み多数となった場合、人数を調整させていただく場合がございます。

事務局：三重県農業研究所野菜園芸研究課（担当：磯山、杉村、近藤）

電話：0598-42-6358 FAX：0598-42-1644

問い合わせ先メールアドレス：plant-fb@pref.mie.lg.jp

ホームページ：<http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/plant-factory/index.htm>

※研修案内の停止を希望される場合やメールアドレスを変更される場合は

FAXまたは問い合わせ先メールアドレスにて事務局までご連絡ください。

.....
2. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

「アグリビジネス創出フェア2024 ～距離が縮まるマッチングAgri～」を開催します！

農林水産省は、11月26日（火）から11月28日（木）までの3日間、東京ビッグサイトにおいて、農林水産・食品分野の技術交流展示会「アグリビジネス創出フェア2024」を開催します。

■「アグリビジネス創出フェア2024」について

日程：2024年11月26日（火）～28日（木） 各日10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト南2ホール（東京都江東区有明3-11-1）

入場料：無料

■来場事前登録

来場事前登録専用フォーム：<https://agribiz.maff.go.jp/register>

.....
3. 2024年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆JST：「2024（令和6）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

☆NEDO：「2024年度 ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」

■民間等

☆公益財団法人G-7奨学財団：「令和7年度 定期公募 研究開発助成事業」

☆一般財団法人Konno&レスター財団：「2025年度研究助成」

☆公益財団法人日本食品化学研究振興財団：「令和7年度研究助成」

2024年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆農産関係

○促成栽培イチゴで発生するヒラズハナアザミウマ *Frankliniella intonsa* (Trybom) に対する物理的防除法の効果

促成栽培イチゴでは、春先からヒラズハナアザミウマの発生量が増加し、アザミウマ類に吸汁加害された果実は光沢がなく、果皮が肥厚した肥大不完全な褐色の果実となる。1) 発生するアザミウマ類の種類は、ヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ等が知られており、全国的にはヒラズハナアザミウマ *Frankliniella intonsa* (Trybom) が優占する地域が多く2) 3)、岐阜県でも加害主要種となっている。野外では成虫態で越冬し、晩春から初夏に個体数が急増する。細長い体型をしているため、細かな目合いの防虫ネットを施設側面に展開しても、侵入防止効果は限定的で4)、換気のため施設側面を開放する秋期と春期に侵入リスクが高くなる。著者らはこれまでに室内試験でイチゴの花の前面に黒色の資材を設置することで、ヒラズハナアザミウマの花への移動が抑制される現象を観察し(未発表)、視覚を遮ったことによるものと考えた。そこで、施設内のイチゴの株を周囲の雑草地から視覚的に遮蔽し、侵入を防止する物理的防除法を考案し、その効果を検証した。

・岐阜県農業技術センター研究報告 第21号：13～16 (2023)

<https://www.g-agri.rd.oref.gifu.lg.jp/>

☆農産関係

○冷蔵中のLED弱光短時間照射によるワサビ実生苗の長期保存

水ワサビ栽培は一年を通じていつでも苗の定植が可能ですが、秋に定植する苗の供給には夏の育苗が必要です。近年は標高や緯度の高い地域でも酷暑となるため、夏に苗が生育せず、秋の定植苗不足が深刻になっています。そこで当研究所では、生産が安定して

いる春の苗を、秋まで長期間冷蔵保存する技術の開発に取り組んでいます。開発した冷蔵技術の概要は下記のとおりで、弱光照射下で最長6か月間（弱光照射なしで最長4か月間）の冷蔵保存が可能となりました。（1）保存容器は透明または白色半透明のプラスチック製。（2）苗は保存容器内の底に培土を接して並べ入れる。（3）保存容器は完全に密封し、冷蔵温度3℃、保存容器内湿度ほぼ100%で維持。（4）冷蔵中にLE弱光（照射光量PPFD 5~10 $\mu\text{mol}/\text{m}^2/\text{s}$ 、60型相当の電球色LED2個を距離1m前後で照射）を短時間（照射時間1~6時間/日）照射本技術は水ワサビ生産者が自宅の苗専用プレハブ冷蔵庫で個別に冷蔵することを想定しており、秋の苗不足を補完する方法として有効と考えられます。

（農林技術研究所伊豆農業研究センター 研究情報 NO.89 (2024.10)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/index.html>

.....

編集後記

しばらく気温の高い日が続いていましたが、11月に入り肌寒さを感じられるようになってきました。体調管理に気を付けたいものです。

さて、10月31日にスマート農業についての第3回セミナーをオンラインで開催し、多くの方々に参加をいただき感謝申し上げます。国の施策やスマート農業を実践している方々のお話を聞くことができ、多くのご質問もいただき有り難うございました。

また、12月5日~6日に「アグリビジネス創出フェア in 東海」を名古屋大学 野依記念学術交流館で開催します。本メールマガジン及び当研究会ホームページに詳しいご案内を掲載していますので、ご覧いただき、是非、ご参加下さい。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術 TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>